

事業の流れ



※企業の場合は代表者、
個人の場合はご本人の
出席が必須となります。



委員会の様子



認定書交付の様子

Aランク認定企業のお声



- 目利き委員会への申請を通じて、事業の方向性を整理出来たので良かった。
 - 認定後、金融機関やベンチャー・キャピタルから声がかかるようになった。
 - 自社のホームページを見て優秀な人材が応募してくれるようになった。
- 等々

※ あくまで個人の感想です。

- 委員、一次審査部会委員、調査専門委員、事務局は、申請された事業プランについて守秘義務が課せられています。
- 目利き委員会は、投資家、金融機関、取引先等との仲介・斡旋は行いません。また、審査後の交渉・取引等に生じたトラブルについては、当事者間で解決するものとし、目利き委員会はその責を負いません。

事業プランの応募に関するお問合せ先



公益財団法人京都高度技術研究所

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地
TEL 075-315-3645(ダイヤルイン)
FAX 075-315-6634
E-mail info-mekiki@astem.or.jp
URL <http://www.venture-mekiki.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/venture.mekiki1997/>

公益財団法人京都高度技術研究所(アステム)は、京都市・京都府・産業界が出捐する法人で、中小企業の経営革新支援のほか、新産業創出への支援や先端科学技術の研究開発の推進事業等を実施する産業支援機関です。

京都市ベンチャー企業 目利き委員会

革新的な技術や独創的なビジネスモデルが核となった事業プランを目利きし、継続的に成長・発展できるよう、資金調達、経営戦略、マッチング等、多角的に支援します!

委員名

永守 重信	日本電産株式会社 代表取締役会長 (CEO)
佐和 隆光	公益財団法人国際高等研究所 副所長
辻 理	サムコ株式会社 代表取締役会長 (CEO)
上村 多恵子	京南倉庫株式会社 代表取締役社長
齋藤 茂	株式会社トーセ 代表取締役会長 (CEO)
仲尾 功一	タカラバイオ株式会社 代表取締役社長
原 良憲	京都大学 経営管理大学院 院長・教授
西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所 理事長

(順不同・敬称略)

京都から世界へ 起業を考えるあなたを応援します!

「京都市ベンチャー企業目利き委員会」は、1997年に次代の京都経済をリードするベンチャー企業を発掘・育成するために発足しました。

委員会では、京都を代表する企業経営者や学識経験者、専門家が、新しい事業を考えておられる皆さんの経営に対する思いや事業プランの将来性、技術・アイデアなどを評価することで、これを機会に、意欲の高いベンチャー企業が全国から京都に集まり、成長・発展されることにより、経済活性化の原動力となることを目指しています。



こんなプランを目利きします!

- 新技術開発による事業展開
- 新技術を活用して従来のシステムを画期的に変革
- 既存技術に改良を加えて新しい分野に応用
- 事業システムを独創的なアイデアで変革
- 既存技術を融合して新しい事業を創出
- 販売チャネルやビジネスモデル等の新機軸

<応募対象>

新しい事業を考えておられ、これから創業される、又は企業設立後(開業も含む)概ね10年以内の個人、ベンチャー・中小企業(みなし大企業を除く)の方で全国から受け付けます。

※新規性が高ければ、業種・業態は問いません。

※事業プランは随時受け付けています。

※審査は年2回(3月、9月)行います。

評価ポイント 次の項目について評価を行います。

実施体制	経営者・経営陣、業種・業態など
ビジネスモデル	新規性、競争力、技術力、優位性、実現可能性、信頼性、市場性、市場規模、成長性、販売経路、原材料、仕入先など

評価結果

Aランク	成長可能性大
Bランク	事業成立ボーダー
Cランク	再チャレンジ

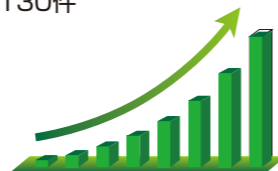
評価結果として「認定書」を交付するとともに、Aランクの認定を受けた事業プランについては、その概要を公表します。なお、それ以外の事業プランについては、申請行為も含めて当委員会(運営主体含む)に守秘義務があり、公表はしませんので、安心してご応募ください。

Aランク認定後の企業実績(事業成果) 2018年7月現在

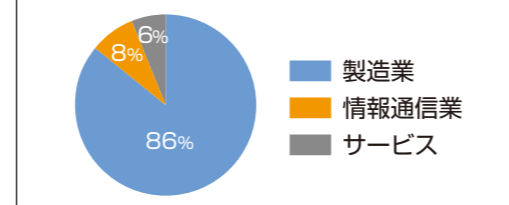
Aランク認定事業数: 130件

資本金 1.8倍増*
売上 2.0倍増*
雇用 2.2倍増*
株式公開 5社*

※いずれも認定時と比較



Aランク認定企業の業種内訳



Aランク認定事業への支援策

Aランク認定を受けた後は、専任コーディネータによるきめ細かな事業展開サポートや研究開発・市場性調査補助金制度など、多くの支援を受けることができます。



支援策の一例

資金調達

●競争的資金申請支援

戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)の他、国等の競争的資金獲得のための申請支援が受けられます。

●研究開発・市場性調査補助金制度

商品化・事業化を目指す研究開発やマーケティング調査のテーマを募集し、審査により採択されたテーマについて、補助金が交付されます。

●資金計画相談会

金融機関やベンチャー・キャピタル出身のコーディネータによる、新商品の開発や事業展開に必要な資金調達の方法や事業計画の策定についてのアドバイスが受けられます(無料・要事前申込)。

経営戦略

●専門家派遣

知財、販売契約等、認定企業が抱える問題について、弁護士、中小企業診断士等の専門家の無料派遣が受けられます(利用回数制限あり)。

●京都市内インキュベーション施設の賃料補助

京大桂ベンチャープラザ、クリエイション・コア京都御車等、京都市内のインキュベーション施設において賃料の一部補助が受けられます。

●各種セミナーの優待

京都高度技術研究所が主催する経営戦略や人材育成に関するセミナーをAランク特別料金で受講いただけます(対象外もあり)。

●京都型グローバル・ニッチ・トップ企業育成補助金

京都市内で事業所を新・増設する際に、新たに取得した固定資産に係る税額の補助(5年間)及び埋蔵文化財調査が必要な場合の補助(上限5千万円)が受けられます。

販路開拓・マッチング

●京都市ベンチャー購買新商品認定制度

認定事業の優れた商品のうち、一定の要件を満たした物品や役務が京都市の随意契約対象となる「新商品または新役務」として認定されるなど、販路開拓支援が受けられます。

●販路開拓・マッチング

オープンイノベーションを行う大企業とのマッチング等、ベンチャー企業の技術や商品を必要とする企業とのマッチングや認定企業間の交流会に参加いただけます。

注) これらの支援策には、一定の要件を満たす必要があるものや京都市が実施するものを含みます。

また、予告なく変更される場合がありますので、ご利用時は、事務局へご相談ください。